木質バイオマス資源の持続的活用による再生可能エネルギー導入計画策定事業
概要説明（千葉県いすみ市）

１．事業概要

事業名	千葉県いすみ市における里山のエネルギー利活用および地域における持続的運用に関する調査
検討対象設備等	地域の竹の利用を中心とする（a）給食センターへの竹ボイラーの導入（設備出力：152kW）。および、バイオマスチップ、もしくは薪の形態のまま活用する（b）高齢者福祉センター、ハウス農家への小規模バイオマスボイラーの導入（設備出力：100kW～150kW程度）。民間のバイオマス需要を促進するための（c）一般家庭への薪ストーブの導入（設備出力：5～20kW×30台（30世帯分））を検討する。
平成３０年度 補助金交付予定額	14,475,000円
事業内容	１）利用可能な木質バイオマスの樹種、賦存量、取扱可能量を把握する。 ２）市民参加で広葉樹等の間伐、竹の伐採を実践し、一般住民が収集可能なバイオマス量を算出する。 ３）持続的な森林マネジメント手法の検討を行う。 ４）導入対象施設のエネルギーシミュレーションを実施し経済性、CO2削減効果を算出する。 ５）上記の調査から、新たな地域経済循環、新事業の創出、高齢者の活躍の場の可能性について検討する。

２．設備導入予定等

設備導入時期	a）給食センター 検討終了後H33年までの3年以内に機器の導入を図る。 b）高齢者福祉センター、ハウス農家への小規模バイオマスボイラーの導入 H31年度以降、補助スキームを確立し、高齢者福祉センター １事例、ハウス農家３事例以上の設置を図る。 c）一般家庭への薪ストーブの導入 検討終了後H33年までの3年以内に30台程度の薪ストーブの、順次導入を図る。
CO2削減効果	436.21 CO2トン/年
生物多様性保全効果	本調査により木材の利活用、竹林の抑制などの森林マネジメントを実現することが、獣害の対策にもつながり、さらに貴重種となるシュンラン、キンランなどの里山の生態環境の保全につながる。本調査の結果は、地域の学校等における環境学習に活用するほか、都市からの自然体験型観光のコンテンツなどとして活用していく。